

経済倶楽部便り

◆東京◆ 夜半から大雪に見舞われた2月14日の講演会は、「日本はアジアや世界の中でどう生きるか」と題して、初の共催シンポジウムを取り込んだ意欲的なプログラムでした。ところが天候不順には勝てず、出席聴講者は通常の半分以下。青木保氏(国立新美術館館長)、有馬朗人氏(東京大学名誉教授)、西原春夫氏(アジア平和貢献センター理事長)という錚々たる顔ぶれの基調講演を聞き逃された方は、次号4月号の講演録にて、ぜひ「拝聴」ください。

3月の講演会は、川本裕子・早稲田大学大学院教授、川嶋朗・東京女子医科大学准教授、増

田寛也・野村総合研究所顧問をお迎えします。

(塚田 紀史)

◆中部◆ 年が明けて前年度の事業報告を柱とする理事会(3月開催)準備も進んでいます。今年度もポイントは会員の増員対策です。地元と同種の懇談会なども会員の高齢化と合わせて減少が言われていますが、中部経済倶楽部も同様です。会員の中には「これだけの講師の講演を低料金で聞ける」と好評ですが、一方で「そうした事実があまり知られていない」とも言われます。新年度は新聞等への広告だけでなく、口コミなども含め策を練りたい所存です。

3月の講師は水野和夫・日本大学教授、自動車アナリストの中西孝樹氏、中西輝政・京都大学名誉教授を予定しています。(日暮良一)